



はりまや橋周辺活性化に関する緊急提言

提 言

2009年9月

土佐経済同友会

はりまや橋周辺活性化に関する緊急提言

土佐経済同友会

代表幹事 岡内啓明

代表幹事 久松朋水

はりまや橋周辺活性化委員長 木村祐二

(基本的な考え方)

「はりまや橋ブランドを産業振興に活かそう！」

全国的なビッグネームを「日本一のがっかり名所」にしておくのはもったいない！県民が手と手を繋ぎ知恵を出し合って、「日本一行って見たい名所」に変えよう！そのため、先ずは西武跡地を、県民市民が集う地産地消拠点、そして観光客にとって土佐に浸れる地産外商拠点に！

(提言)

提言 1 土佐龍馬であい博に合わせ、西武跡地に観光客、県民市民の集う、県下の1次、1・5次産品などが結集した常設日曜市と土佐的飲食の楽しめる屋台村を創設しよう。

まずは西武跡地の短期利用について地権者と交渉。

駅前に出来る、とさてらす、高知・龍馬ろまん社中との相乗効果を考える。

そして、緊急に民主導の実行プロジェクト「西武跡地活用プロジェクト(仮称)」を立ち上げ、県民市民、観光客に喜ばれる簡易施設づくりと運用を行う。

**提言 2 官民共同で「はりまや橋周辺活性化協議会（仮称）」
を立ち上げ、活性化のための具体的施策の検討を進める。**

西武跡地、はりまや橋のあり方、地下駐車場、バスターミナル、中心商店街の活性化等、一体的に協議を進める。

組織作りについては、土佐経済同友会が呼びかけ人となり、県市はもとより高知商工会議所、高知県・市商店街振興組合連合会、JA中央会、高知県漁業協同組合、金融機関、高知県観光コンベンション協会、高知市観光協会等に参加を頂く。

コアとなる西武跡地に関しては、先ずは人を集める仕掛けとして、高知県の1次産品、1・5次産品などの結集する地産地消、地産外商拠点とし、その商品をお場で加工提供できる飲食の集積作りなどが考えられる。

県民市民、観光客にとっての地産地消・地産外商拠点が、東京におけるアンテナショップの強力なバックボーンとなる。この補完機能こそが、地産外商のキーと考える。

【特別委員会 はりまや橋周辺活性化委員会 検討メンバー一覧】

木村 祐二(委員長)

上田 祐嗣 衛藤 公洋 岡内 啓明

佐竹 新市 塩村 泰幸 中澤 陽一

鍋島 孝誠 野村 栄一 野村 直史

久松 朋水 三好 朝男 漁師 明

【特別委員会 はりまや橋周辺活性化委員会 委員会記録】

第1回委員会 2009年 8月 4日 12名

第2回委員会 8月20日 8名

第3回委員会 8月24日 8名

本件に関する問合せ先

土佐経済同友会 事務局

〒780-0823

高知市菜園場町 1-21 四国総合ビル 3F

四銀キャピタルリサーチ (株) 内

TEL : 088-885-6707 FAX : 088-883-1156

メール・アドレス : tosadoyu@orange.ocn.ne.jp

インターネット・ホームページ :

<http://www.tosadoyukai.com/>